

市民ボランティアと博物館 深化する技術と連携 2025



専門家からのレクチャー



櫻原考古学研究所の中尾真梨子先生
東京文化財研究所の芳賀文絵先生ご来館
断片化している資料の処置についてご指導いただく



JCP 尾立和則先生と京都芸術大学
の大林賢太郎先生を結んで
オンライン交流会
先生の近況をお聞きし
今私たちが困っていることについて
ご指導いただく



神戸から内田俊英先生ご来館
洗浄でのレーヨン紙使用方法を実演
網目が細かいネットで行う方法を習っていたが
レーヨン紙で挟んで行う方法は初



JCP 尾立和則先生ご来館
セルロース・エタノール接着剤や
極薄和紙など、応急処置における
必殺技の数々を伝授していただく

習得した技術の活用



水害被害から5年以上経って持ち込まれた被災掛軸
普通には開くことができないほどガチガチに固まっていた
50%エタノールをつけた筆で少しづつゆるめていくと開披



キッチンペーパーの芯を使った泥落とし
作業でキッチンペーパーをたくさん使うが、その芯を再利用しそ
こに新たにキッチンペーパーを巻き付けて
文書の裏側の泥を落とすのに使用
文書全体を裏返さずにピンポイントで作業できるので便利



尾立先生に教わった新しい技を
リーダーがメンバーに伝える



豎帳の処置。大部分の処置が終わり、重しとして大型本を載
せて紙を平らにプレスしつつ、背表紙部分の最終チェック
背表紙をくるんでいた和紙が破れていたので、そこに
泥が入り込んでいるか、全頁の背部分を1枚ずつ確認



空気清浄機フル稼働し
臭いを我慢しながら作業
(慣れちゃって気にならない?)



冷凍文書を解凍する際
いきなり常温に出すのではなく
冷蔵庫でゆっくり解凍
博物館職員に譲って頂いた冷蔵庫で

学生体験



東京の中2年生



長野市内中高生の
サマーチャレンジ
ボランティア

地域連携



栄村歴史文化館こらっせで
文化財保全活動見学



水損文書をお預かりした
地区の組長さん方ご来館



住民自治協議会さんから
タイムカプセル水損被害の
ご相談に対応

*令和元年東日本台風による被災から6年2カ月経過。

ボランティア参加者 延べ5,410人

ご協力いただいた皆様に厚く御礼申し上げます

サポート

いつもありがとうございます。

